

# 平成29年度 全国及び奈良県学力・学習状況調査結果について (小学校)



平成29年10月24日 県立教育研究所  
県教育委員会事務局 学校教育課  
垣内 宏志

# 1 全国及び奈良県学力・学習状況調査について

## (1)調査の目的 ～何のために行うのか～

### 〈全国学力・学習状況調査の目的〉

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。



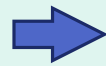
子どもの「何ができて、何ができないのか」を把握し、「できなかったことが、できるようになる」という学習意欲や学力向上につながるものでなければならない。

# 1 全国及び奈良県学力・学習状況調査について

## (2) 調査内容 ～何が問われているのか～

### 〈全国学力・学習状況調査の内容〉

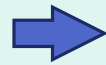
国語A、算数・数学A



主として  
「知識」に関する問題

- ◆身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ◆実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

国語B、算数・数学B



主として  
「活用」に関する問題

- ◆知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◆様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

実際に先生方が調査問題を解いてみて、何がどのように問われているのか理解することは大切である。

# 1 全国及び奈良県学力・学習状況調査について

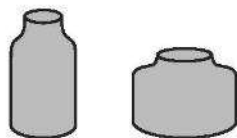
## (2) 調査内容 ～何が問われているのか～

4

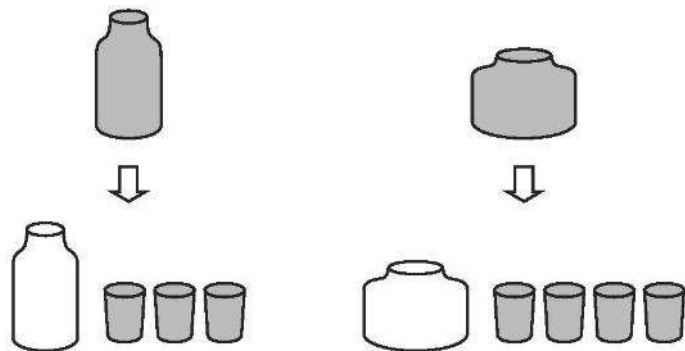
### A 問題

平成29年度全国学力・学習状況調査問題【小学校 算数A】より

次の2つのびんにいっぱいに入れた水のかさを比べます。



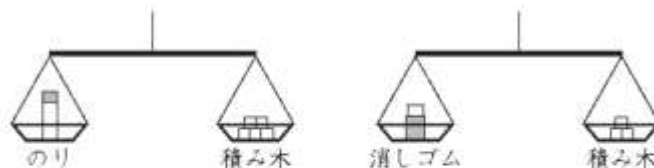
2つのびんにいっぱいに入れた水のかさは、同じ大きさのコップに分けて、それぞれコップ何ばい分かで比べることができます。



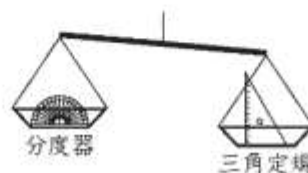
この比べ方と同じように、ものの重さや長さを同じ大きさのいくつかで比べているものは、右の 1 から 4 までの中のどれですか。

2つ選んで、その番号を書きましょう。

1 のりと消しゴムの重さを、てんびんを使って、同じ重さの積み木の個数で比べます。



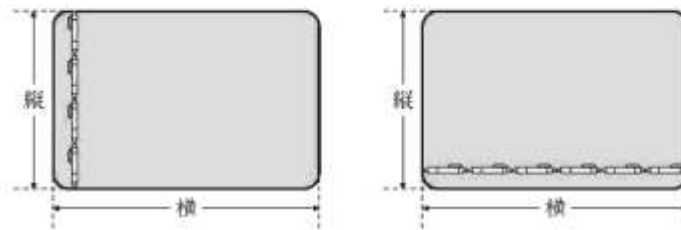
2 分度器と三角定規の重さを、てんびんを使って、どちらにかたむいているかで比べます。



3 2本のえんぴつの長さを、えんぴつのはしをそろえて立て、どちらのえんぴつの先が高いかで比べます。



4 ある机の縦と横の長さを、同じ長さのボールペンの本数で比べます。







# 1 全国及び奈良県学力・学習状況調査について

1 石田さんは、日本語を学んでいる外国人の人たちは、「折り紙」について紹介するスピーチをするため友達に助けてもらいながら練習しています。次は「スピーチメモ」「スピーチの練習の様子」「グループの話し合いの様子」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えてみましょう。

【スピーチメモ】  
 折り紙とは紙を折って、いろいろな形を作る遊びです。  
**スピーチメモ**  
 私は、折り紙について紹介します。折り紙は、紙を折って、いろいろな形を作る遊びです。子供から大人まで楽しむことができます。  
 (練習プリントのしりとり)



【スピーチの練習の様子】(動画で記録したものです)  
 私は、折り紙について紹介します。折り紙は、紙を折って、いろいろな形を作る遊びです。子供から大人まで楽しむことができます。

**スピーチの練習の様子】**

私は、折り紙について紹介します。折り紙は、紙を折って、いろいろな形を作る遊びです。子供から大人まで楽しむことができます。

このおひの練習プリントで折り紙を教えますので、みなさんと一緒に練習してください。

折り紙の作り方は、色紙を4等分して、折っていきます。いろいろな形を作ることができます。

私は、折り紙の練習をがんばります。

友達と一緒に練習します。

【グループの話し合いの様子】

石田さんのスピーチ、よかったですね。

ありがとうございます。折り紙の作り方を教えてもらって、私も折ることができました。お礼の「一つ」も覚えておきます。ありがとうございます。今回もスピーチメモを使ってみました。

スピーチメモを使えば、話のまとまりや順序を整理して話すことはできます。うん、そうですね。それに、必要に応じてメモを見ればよかったですから、相手の反応を見て話すことも大切だと思います。

そうですね、私も練習したいと思います。

そのだね、日本語を学んでいる外国の人にとっては、折り紙は難しいですね。

それから、石田さん一番話したいことを選んで話すのが大事だよな。

私は、折り紙の作り方を一番伝えたいな。

それなら、折り紙の作り方を詳しく話してみようかな。折り紙の作り方は、色紙を4等分して、折っていきます。

はい、私も練習してみようかな。折り紙の作り方を詳しく話してみようかな。

【手書き】のように、組み合わせて話すこともできるようだよ。

折り紙の作り方を話したいことがあるんだね。みんなの意見を参考にしよう。

【グループの話し合いの様子】について、どのような目的で動画を観ていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 調べて分かったことをよく伝えていく中で、整理するため。
- 2 よい点を多く見つけて、他の人の参考にしようとするため。
- 3 相手に応じた話し方の改善点について、確かめるため。
- 4 姿勢や表情に気を付けて話しているか、ふり返るため。

【スピーチメモ】について、どのような目的で動画を観ていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 調べて分かったことをよく伝えていく中で、整理するため。
- 2 よい点を多く見つけて、他の人の参考にしようとするため。
- 3 相手に応じた話し方の改善点について、確かめるため。
- 4 姿勢や表情に気を付けて話しているか、ふり返るため。

【スピーチの練習の様子】について、どのような目的で動画を観ていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 調べて分かったことをよく伝えていく中で、整理するため。
- 2 よい点を多く見つけて、他の人の参考にしようとするため。
- 3 相手に応じた話し方の改善点について、確かめるため。
- 4 姿勢や表情に気を付けて話しているか、ふり返るため。

【グループの話し合いの様子】について、どのような目的で動画を観ていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 調べて分かったことをよく伝えていく中で、整理するため。
- 2 よい点を多く見つけて、他の人の参考にしようとするため。
- 3 相手に応じた話し方の改善点について、確かめるため。
- 4 姿勢や表情に気を付けて話しているか、ふり返るため。

1 石田さんのグループは、【グループの話し合いの様子】の□において、どのような目的で動画を見ていますか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 調べて分かったことをよく伝えていく中で、整理するため。
- 2 よい点を多く見つけて、他の人の参考にしようとするため。
- 3 相手に応じた話し方の改善点について、確かめるため。
- 4 姿勢や表情に気を付けて話しているか、ふり返るため。

# 1 全国及び奈良県学力・学習状況調査について

1 石田さんは、日本語を学んでいる外国人の人たちには「折り紙」について紹介するスピーチをするため

【スピーチの練習の様子】（動画で記録したもの）

私は、折り紙について紹介します。折り紙は、紙を折って、いろいろな形を作る遊びです。子供から大人まで楽しむことができます。

私は、小さいころにおばあちゃんに教えてもらった「つる」を折るのが得意です。これは、私が折った「つる」です。

他にも、「風船」、「紙飛行機」などを作ることができます。友達と一緒に作ると楽しいです。

折り紙のみりよくは、色やもようがきれいな紙を折って、いろいろな形を作ることができることだと、私は思います。

このあとの体験コーナーで作り方を教えますので、みなさんも、ぜひ一緒に作って楽しんでください。これで、折り紙の紹介を終わります。

三 石田さんは、友達の助言を受け、【スピーチの練習の様子】の中の【 】について、もう一度考えています。石田さんは。どのように話すとういのですか。その内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

(条件)

- 折り紙のみりよくについて、【スピーチメモ】と【グループの話し合いの様子】で出された意見から、それぞれを取り上げて書くこと。
- スピーチとしてふさわしい言葉づかいにすること。
- 書き出しの言葉に続けて、八十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

# 1 全国及び奈良県学力・学習状況調査について

## (2) 調査内容 ～何が問われているのか～

A問題では、単に漢字が読めたり、書けたりすることや計算ができるといった知識や技能の量を測るだけでなく、**実生活での活用を想定した問題**が出題されている。

**生きて働く知識・技能の習得**

B問題では、**他者と協働による学習活動**の中で課題を見だし、**多様な意見や考え方**などから**必要な情報**を読み取り、それらを**活用して自分の言葉で説明する**ような問題が出題されている。

**主体的・対話的で深い学び**



**全国学力・学習状況調査**の中では、**新しい学習指導要領**が示す**これからの子どもたちに求められる学力**が問われている。



## 2 調査結果から見える子どもの姿

### (1) 学力調査の結果から ～何ができて、何ができなかったのか～

#### 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果（教科）

（上段：平均正答数 下段：平均正答率(%)）

	国語 A				国語 B			
	平成29年度		平成28年度		平成29年度		平成28年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	11.2/15	11.0/15	10.9/15	10.8/15	5.2/9	5.1/9	5.8/10	5.7/10
	74.8	74	72.9	71.7	57.5	56	57.8	56.9
中学校	24.8/32	24.8/32	25.0/33	25.0/33	6.5/9	6.4/9	6.0/9	5.9/9
	77.4	78	75.6	75.9	72.2	72	66.5	65.5

	算数・数学 A				算数・数学 B			
	平成29年度		平成28年度		平成29年度		平成28年度	
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県
小学校	11.8/15	11.7/15	12.4/16	12.3/16	5.1/11	5.0/11	6.1/13	6.0/13
	78.6	78	77.6	77.1	45.9	45	47.2	46.4
中学校	23.3/36	23.4/36	22.4/36	22.9/36	7.2/15	7.2/15	6.6/15	6.6/15
	64.6	65	62.2	63.6	48.1	48	44.1	44.2

※国からの各都道府県別の平均正答率の提供が整数値となったため、平成29年度の奈良県の平均正答率は整数値で示しています。

- 小学校において、国語A、B、算数A、Bの全ての調査において、**全国平均正答数を0.1から0.2ポイント下回った。**
- 中学校においては、**国語Bで0.1ポイント下回った**以外は、**全国平均正答数を同ポイント又は0.1ポイント上回った。**

## 2 調査結果から見える子どもの姿

### (1) 学力調査の結果から ～何ができて、何ができなかったのか～

平成29年度奈良県学力・学習状況調査の結果（教科）

（平均正答率（％））

小学校				中学校			
国語		算数		国語		数学	
教科全体	69.4	教科全体	77.5	教科全体	75.3	教科全体	71.3
基礎	71.8	基礎	80.6	基礎	75.7	基礎	73.9
活用	59.1	活用	64.8	活用	73.8	活用	61.1

#### 国語

- 書く力に課題が見られる。（小学校）
- 書く力について、自分の立場を明確にして書くことはできているが、自分の体験を踏まえて自分がとった立場の理由を書くことに課題が見られる。（中学校）

#### 算数・数学

- 地図やグラフなどから必要な情報を読み取ることや、数学的表現を用いて説明することに課題が見られる。（小学校）
- 数学的表現を用いて説明することや、時速、割合の理解に課題が見られる。（中学校）

## 2 調査結果から見える子どもの姿

### (2) 質問紙調査の結果から ～今後、求められる指導改善～

#### 平成29年度全国学力・学習状況調査の結果（児童質問紙）

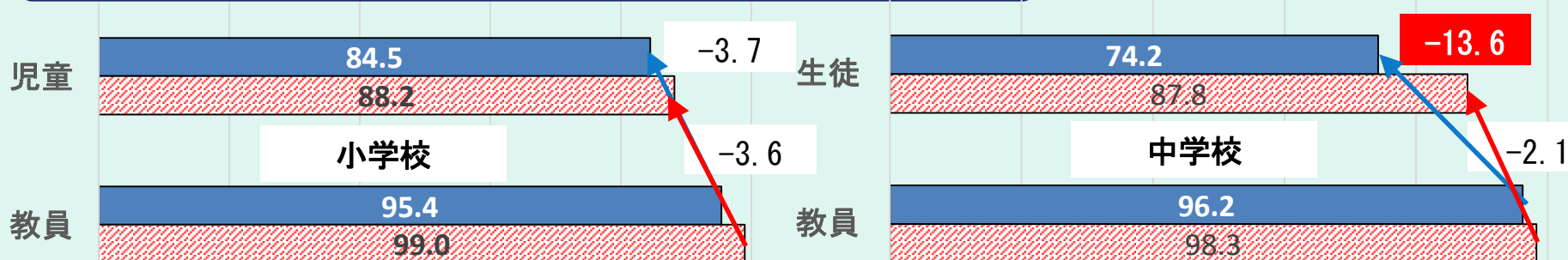
質問 番号	肯定的な回答をした児童の割合について 全国平均との差が大きかった項目	全国平均との差		
		H29	H28	H27
17	学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか。（学習塾に通っていない）	8.0	7.7	7.8
32	家で、学校の授業の復習をしていますか	-9.1	-8.3	-9.5
54	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	-9.7	-7.8	-10.6
62	5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか	-7.4	-5.7	-8.6
63	5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか	-8.0	-7.6	-11.5
74	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	-7.4	-6.2	-8.4
89	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）	-7.9	-6.7	-8.5
90	調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）	-12.1	-9.2	-9.4

## 2 調査結果から見える子どもの姿

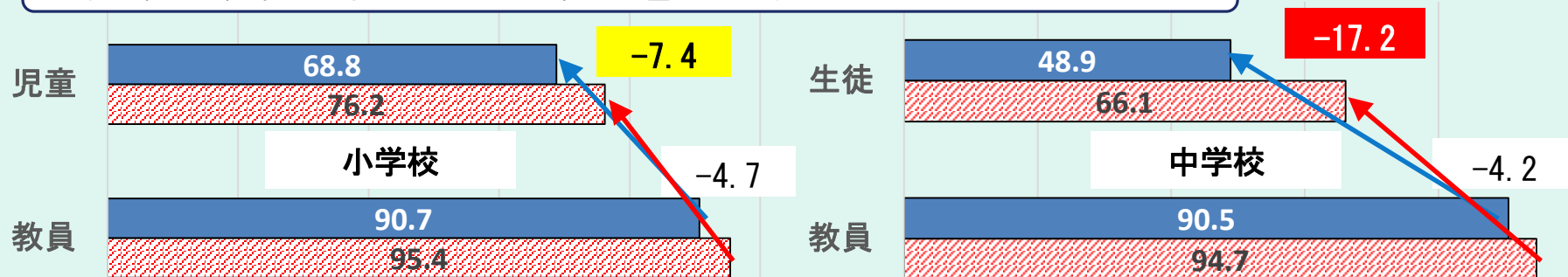
### (2) 質問紙調査の結果から ～今後、求められる指導改善～

#### ア 「目標(めあて・ねらい)」と「振り返り」について

授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたか



授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたか



■ 奈良県 ■ 全国 平成29年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙と学校質問紙の比較から

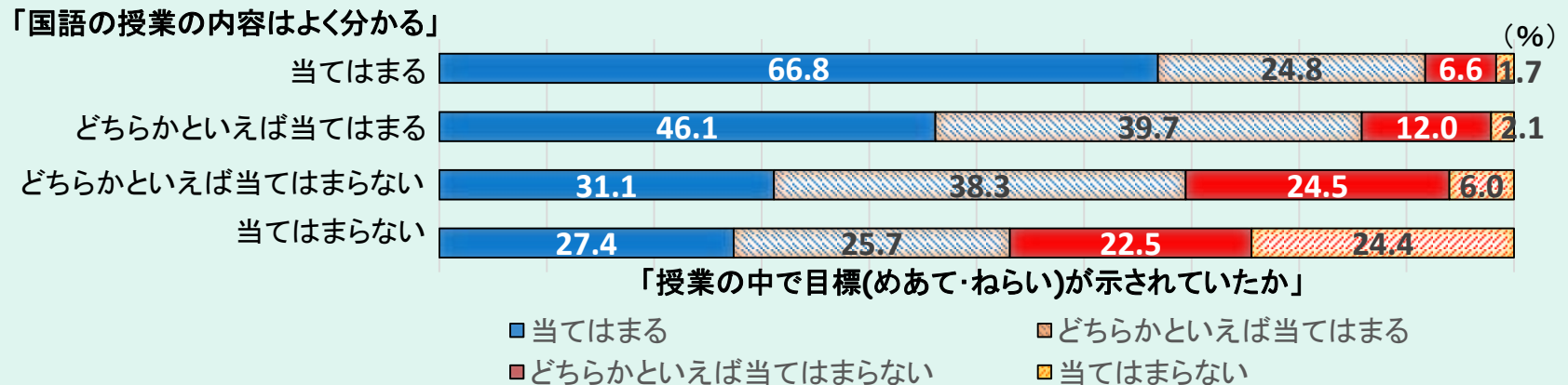
教員は指導しているつもりでも児童生徒には十分意識されていない  
特に本県の中学校において、全国平均との差が顕著に見られる。



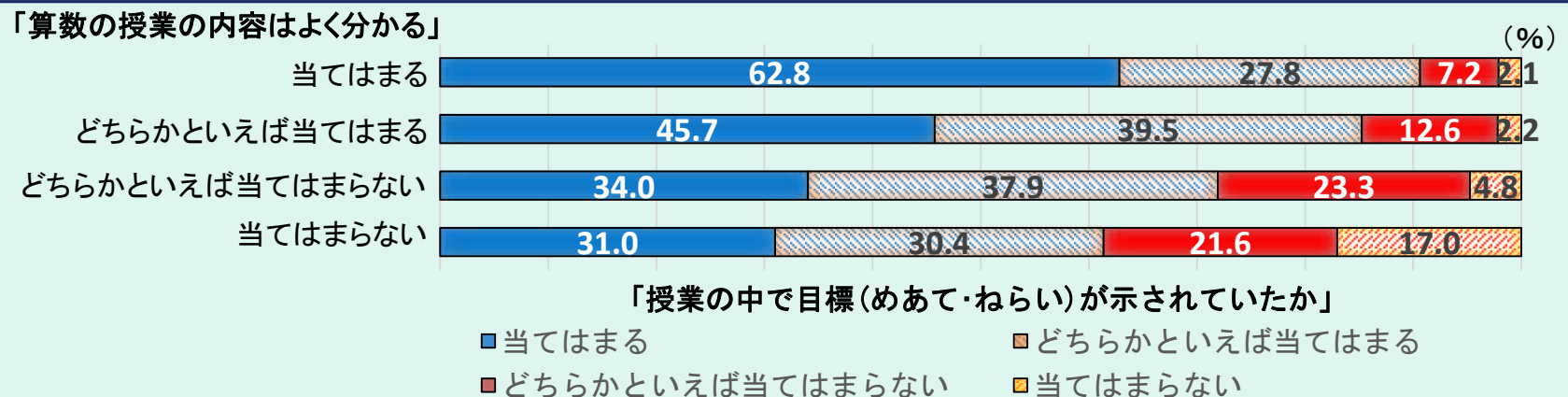
## 2 調査結果から見える子どもの姿

### (2) 質問紙調査の結果から ～今後、求められる指導改善～

「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたか」と「国語の授業の内容はよく分かる」の関係



「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたか」と「算数の授業の内容はよく分かる」の関係



平成29年度 全国学力・学習状況調査 児童質問紙の結果から

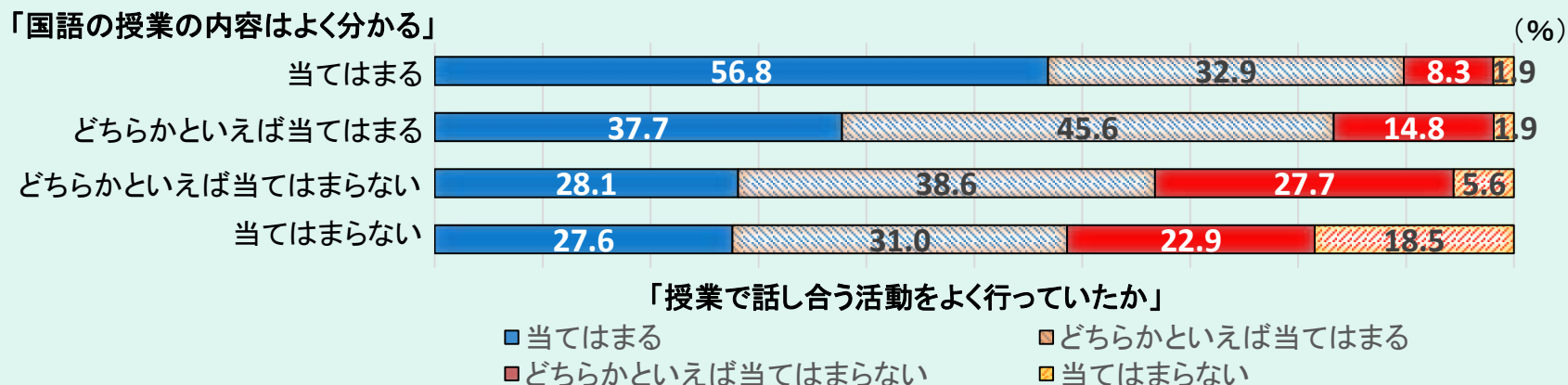
**学習目標が明確な授業は分かる授業につながっている。**

## 2 調査結果から見える子どもの姿

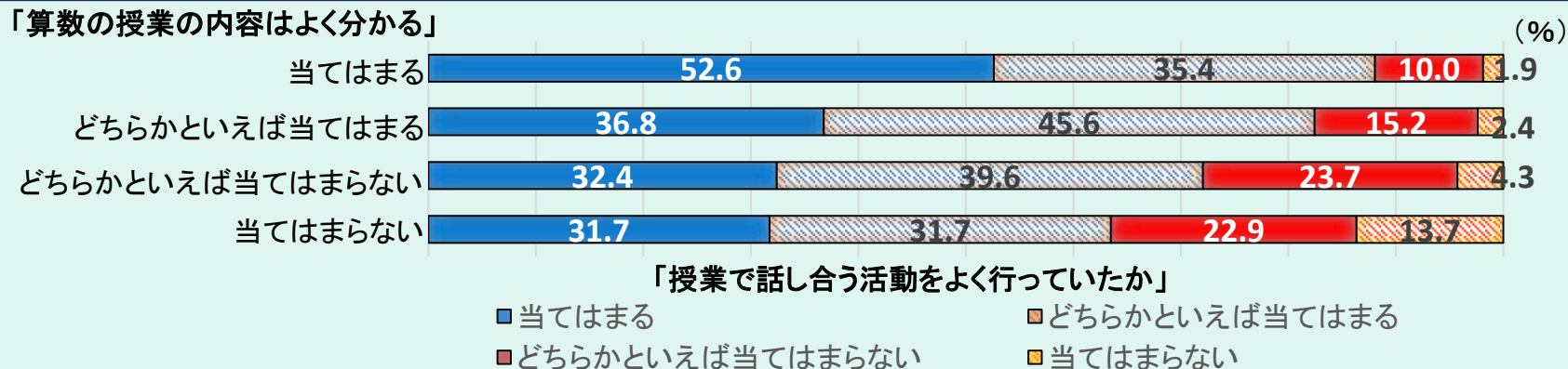
### (2) 質問紙調査の結果から ～今後、求められる指導改善～

#### イ 「主体的・対話的で深い学び」と「学習意欲」の関係について

「授業で話し合う活動をよく行っていたか」と「国語の授業の内容はよく分かる」の関係



「授業で話し合う活動をよく行っていたか」と「算数の授業の内容はよく分かる」の関係

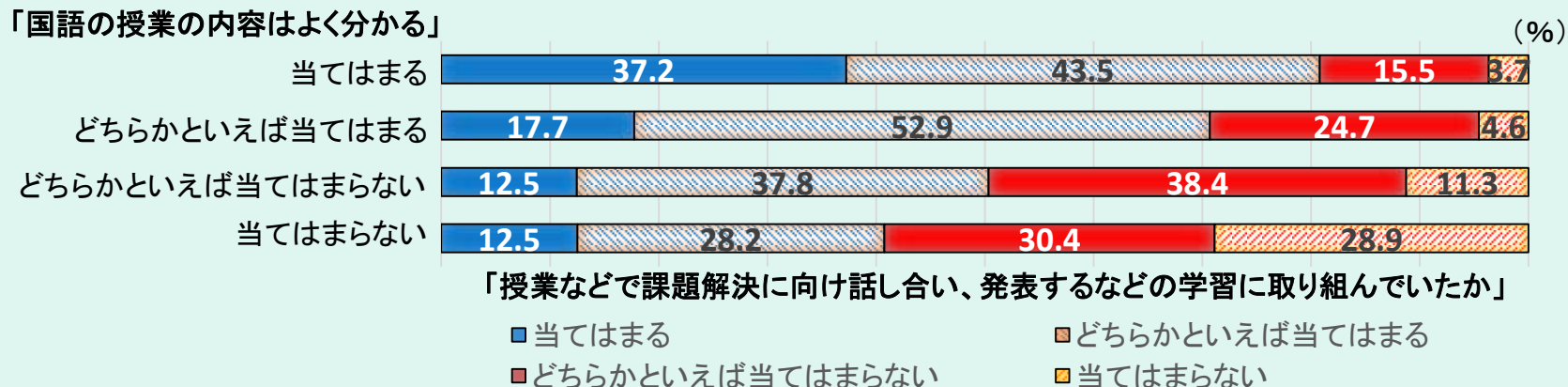


平成29年度 全国学力・学習状況調査 児童質問紙の結果から

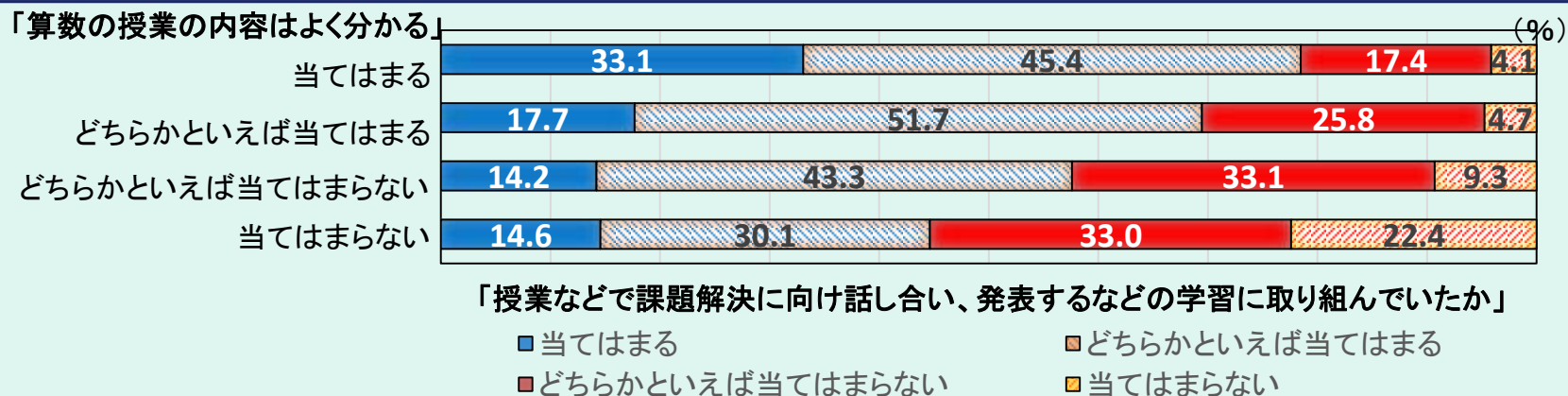
## 2 調査結果から見える子どもの姿

### (2) 質問紙調査の結果から ～今後、求められる指導改善～

「課題解決に向け話し合い、発表するなどの学習」と「国語の授業の内容はよく分かる」の関係



「課題解決に向け話し合い、発表するなどの学習」と「算数の授業の内容はよく分かる」の関係

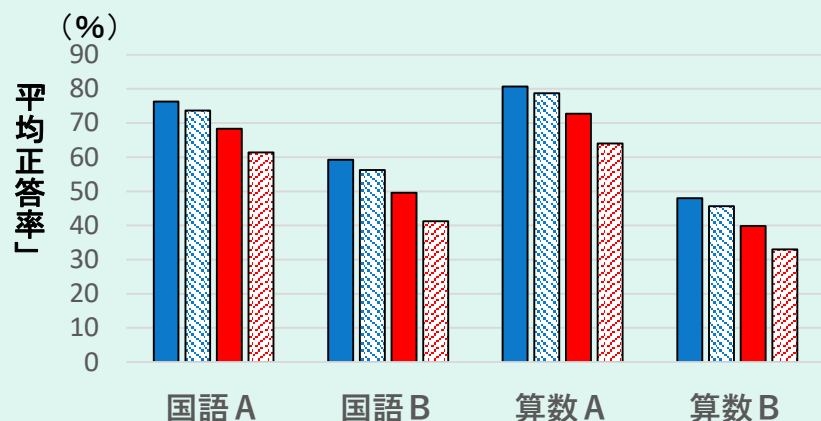


平成29年度 全国学力・学習状況調査 児童質問紙の結果から

## 2 調査結果から見える子どもの姿

### (2) 質問紙調査の結果から ～今後、求められる指導改善～

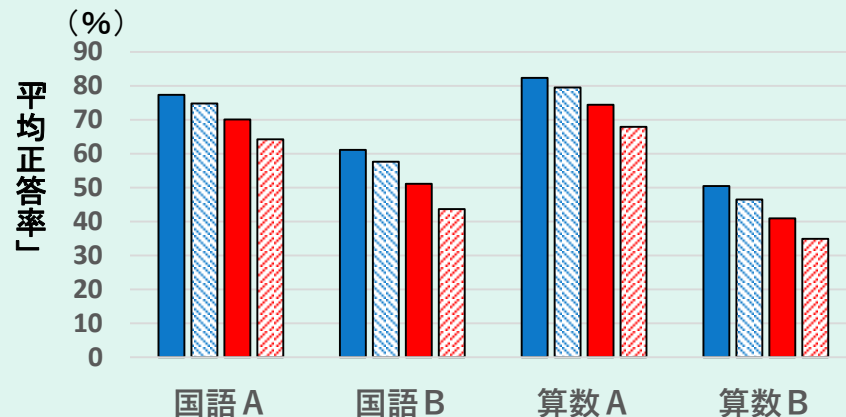
「授業で話し合う活動をよく行っていたか」と各教科の平均正答率（小学校）



「授業で話し合う活動をよく行っていたか」

- 当てはまる
- ▨ どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- ▨ 当てはまらない

「課題解決に向け話し合い、発表するなどの学習」と各教科の平均正答率（小学校）



「授業などで課題解決に向け話し合い、発表するなどの学習に取り組んでいたか」

- 当てはまる
- ▨ どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- ▨ 当てはまらない

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果から

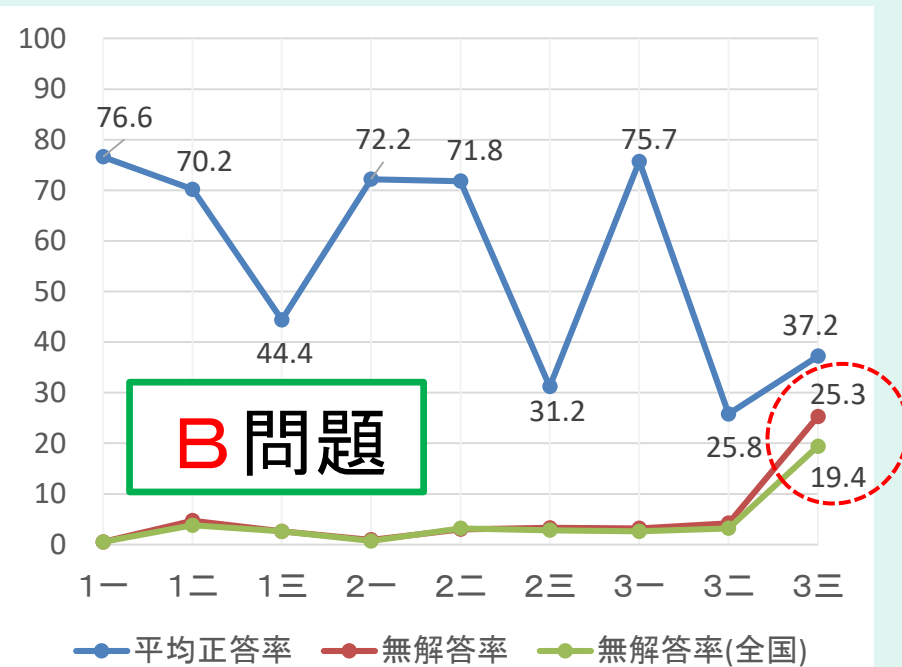
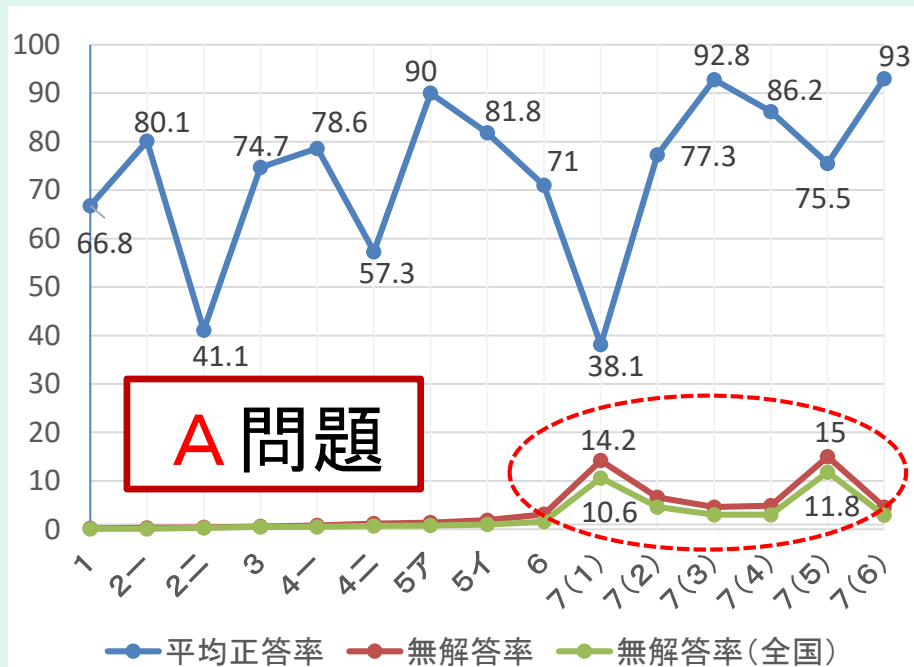
「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業は、  
学習意欲や学力の向上と結びついている。



## 2 調査結果から見える子どもの姿

### (2) 質問紙調査の結果から ～今後、求められる指導改善～

#### ウ 全国学力・学習状況調査の平均正答率と無解答率(小学校 国語)



例年、後半の設問になるにしたがって、全国平均と比べて無解答率が増える傾向が見られる。

無解答の問題は、「分からなかったから書けなかった」のか「時間が足りなかったから書けなかった」のか把握していますか？

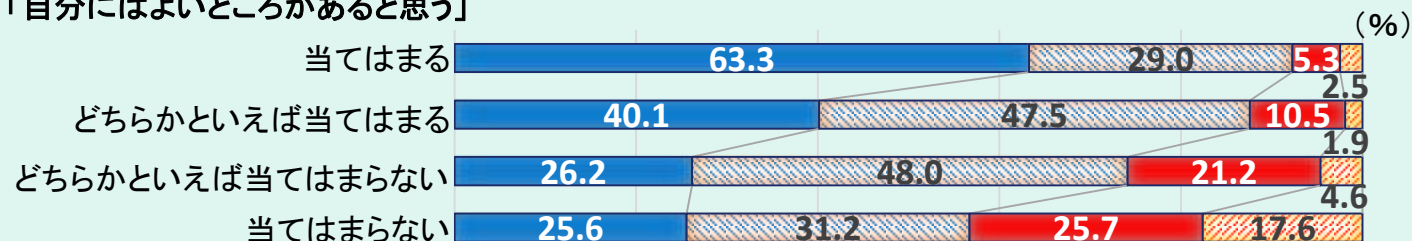
## 2 調査結果から見える子どもの姿

### (2) 質問紙調査の結果から ～今後、求められる指導改善～

#### エ 「自尊意識」と「学習評価の在り方」の関係について

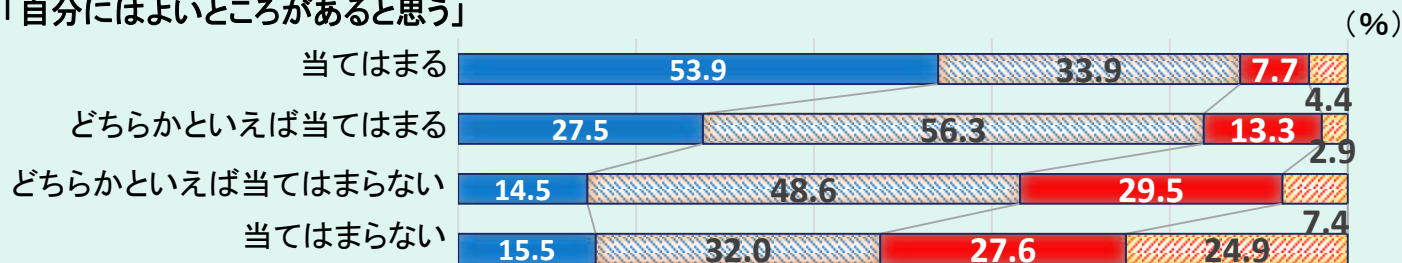
「自分にはよいところがあると思う」と「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」の関係

「自分にはよいところがあると思う」



小学校

「自分にはよいところがあると思う」



中学校

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」

- 認めてくれている
- ▨ どちらかといえば、認めてくれている
- どちらかといえば、認めてくれていない
- ▨ 認めてくれていない

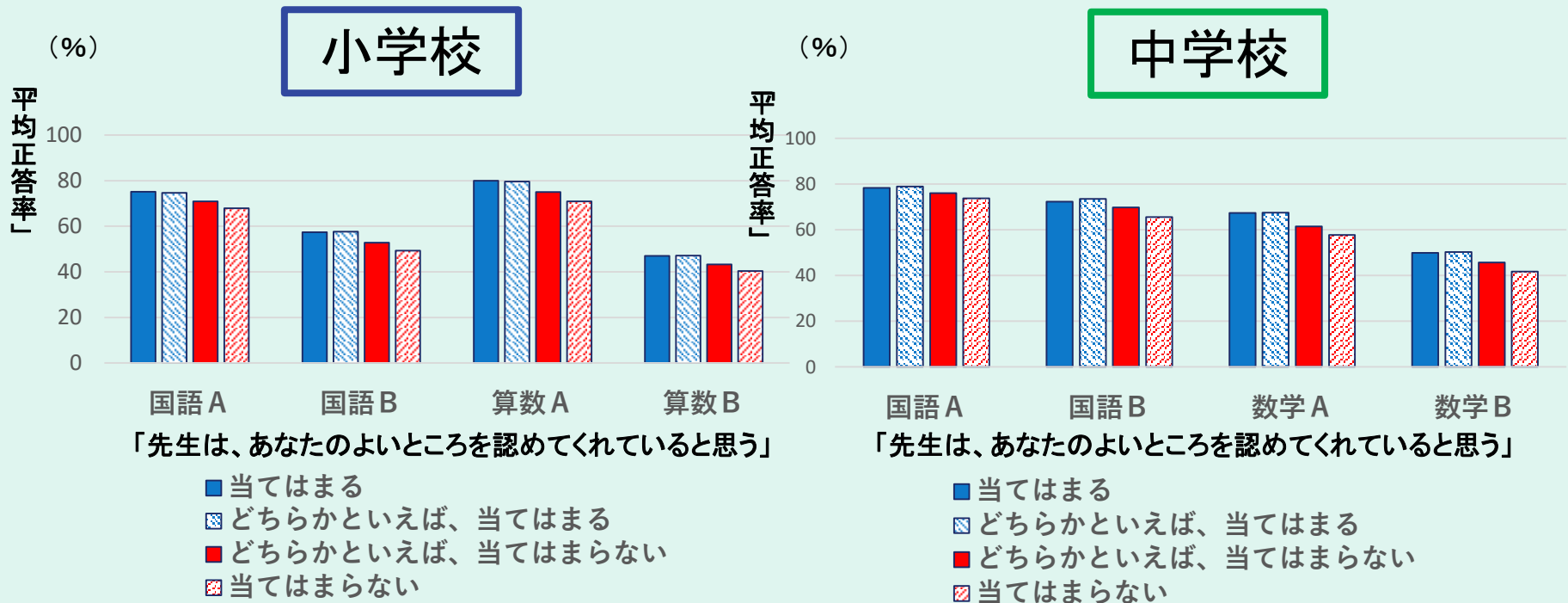
平成29年度 全国学力・学習状況調査  
児童生徒質問紙の結果から

先生が自分のよいところを認めてくれていると感じている児童生徒ほど、自尊意識が高い傾向が見られる。

## 2 調査結果から見える子どもの姿

### (2) 質問紙調査の結果から ～今後、求められる指導改善～

「自分にはよいところがあると思う」と各教科の平均正答率



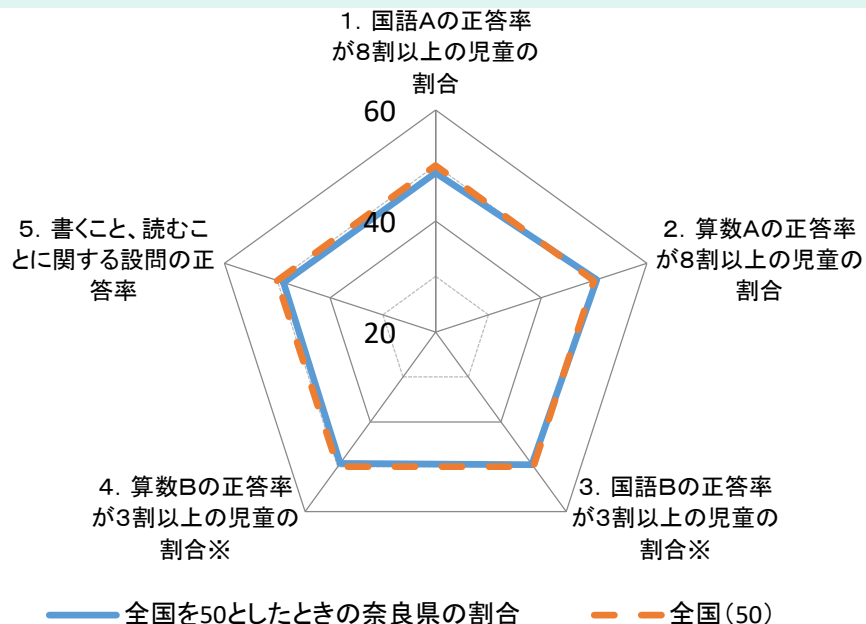
平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果から

**自尊意識が高い**児童生徒ほど、  
各科目における**平均正答率が高い**。

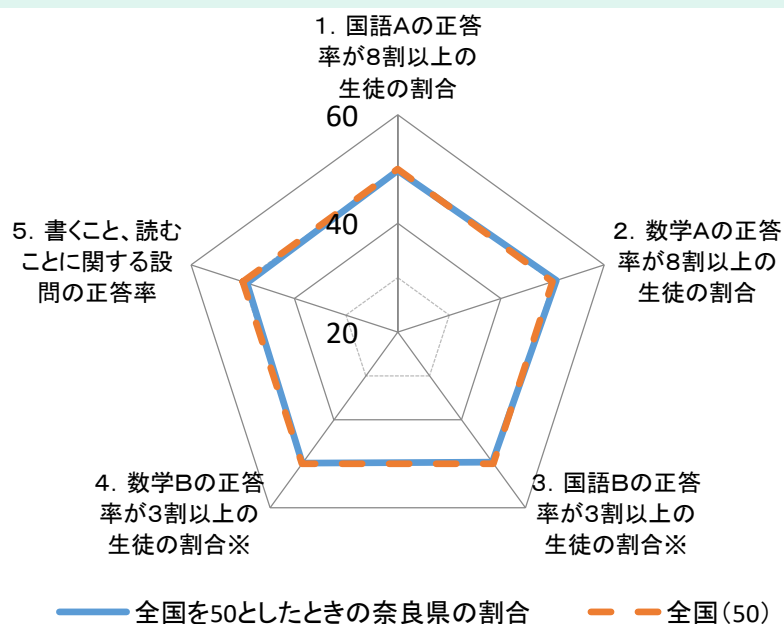
### 3 奈良県教育振興大綱に示す評価指標の実現状況

#### (1) 学力に関する指標

## 小学校



## 中学校



※ 3、4について、グラフでは正答率が3割以上の生徒の割合を示しています。

- 1 国語Aの正答率が8割以上の児童生徒の割合
- 2 算数・数学Aの正答率が8割以上の児童生徒の割合
- 3 国語Bの正答率が3割以下の児童生徒の割合
- 4 算数・数学Bの正答率が3割以下の児童生徒の割合
- 5 書くこと、読むことに関する設問の正答率

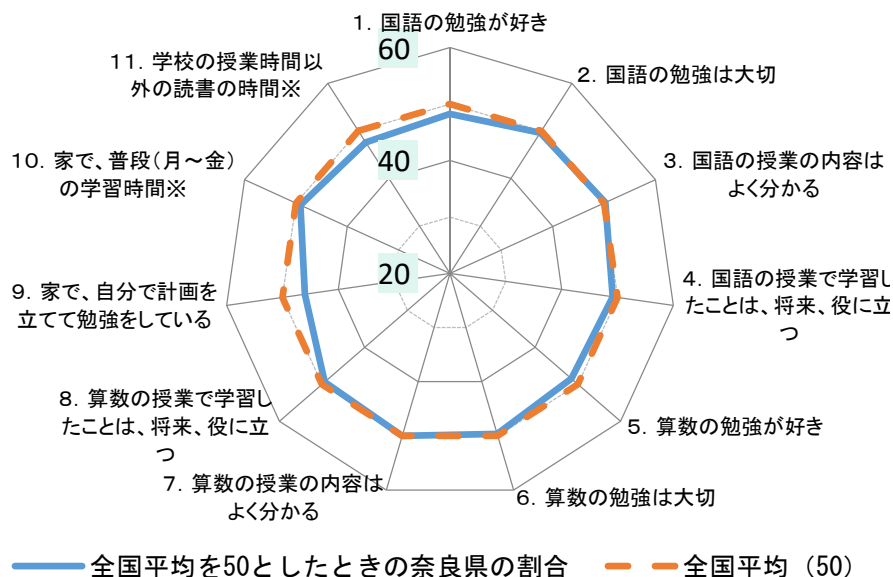
平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果から



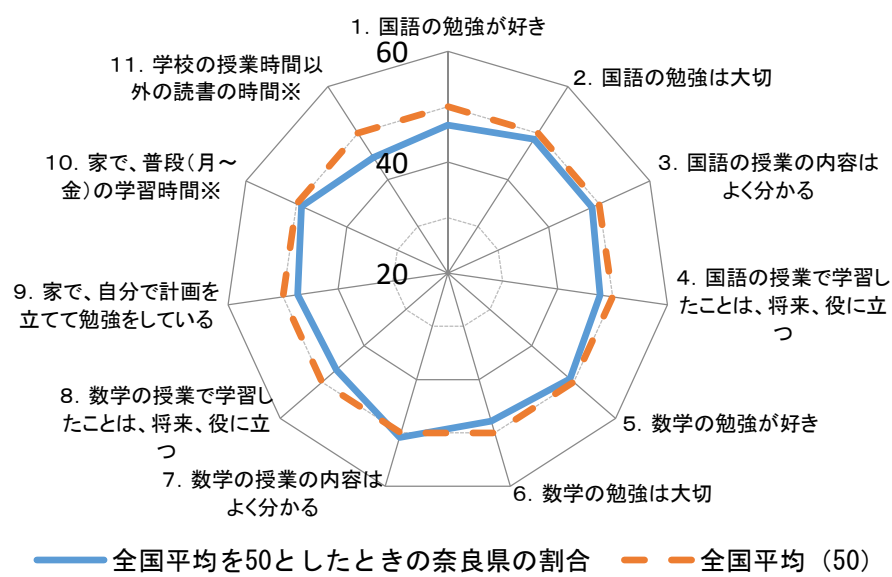
### 3 奈良県教育振興大綱に示す評価指標の実現状況

#### (2) 学習状況に関する指標

## 小学校



## 中学校



※10、11について、「全くしない」と回答した児童を除く児童の割合を示しています。

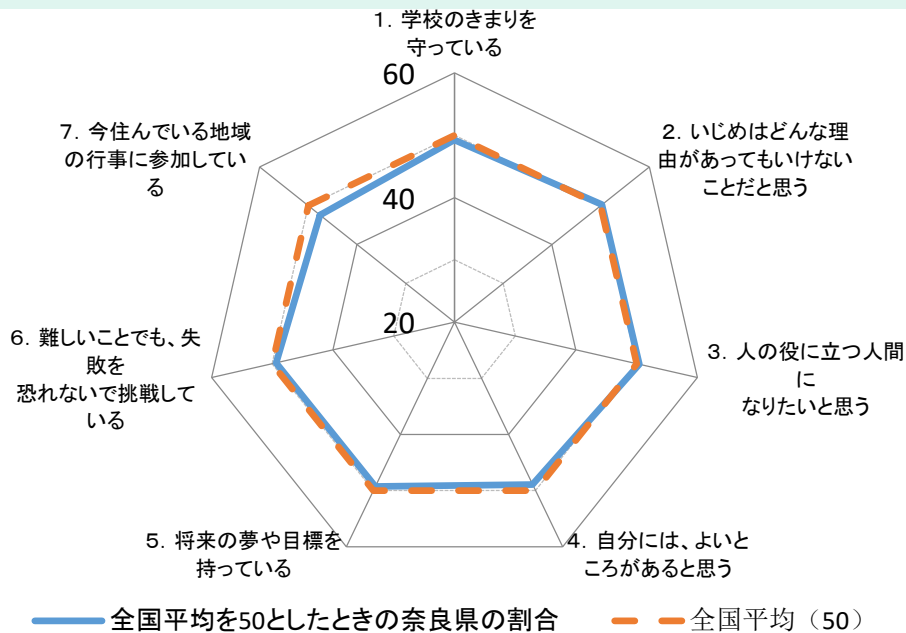
- 1～4 国語の勉強が「好き」、「大切」、「よく分かる」、「学習したことは将来役に立つ」
- 5～8 算数・数学の勉強が「好き」、「大切」、「よく分かる」、「学習したことは将来役に立つ」
- 9 家で、自分で計画を立てて勉強している
- 10 家で、普段(月～金)の学習時間
- 11 学校の授業時間以外の読書の時間

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果から

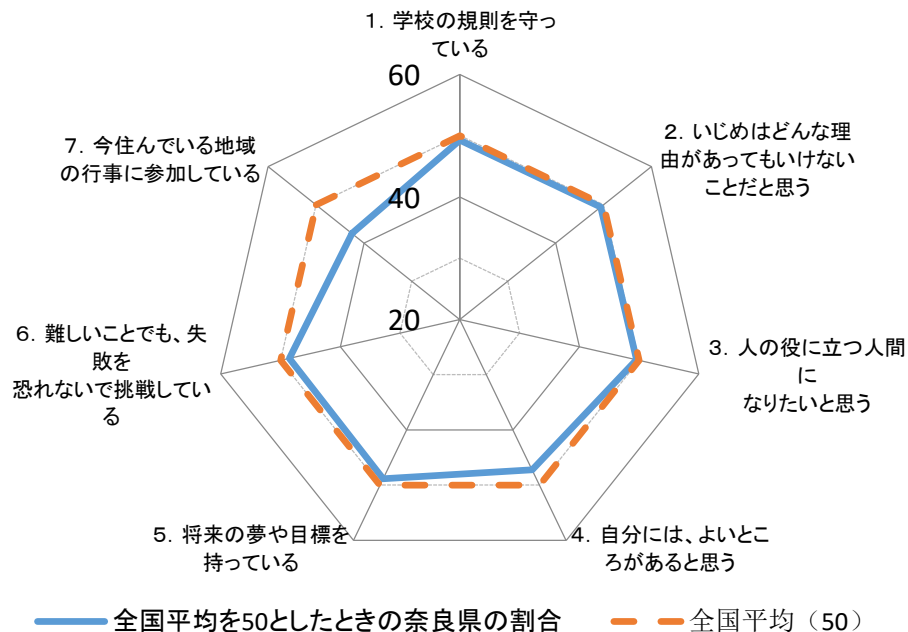
### 3 奈良県教育振興大綱に示す評価指標の実現状況

#### (3) 規範意識・自尊意識等に関する指標

## 小学校



## 中学校



- 1 学校のきまり(規則)を守っている
- 2 いじめはどんな理由があってもいけないと思う
- 3 人の役に立つ人間になりたいと思う
- 4 自分には、よいところがあると思う

- 5 将来の夢や目標を持っている
- 6 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している
- 7 今住んでいる地域の行事に参加している

平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果から

#### 4 先生方にお願いしたいこと

～できなかったことを、できるようにするために～

(1) 全国学力・学習状況調査を通して、**今の子どもたちに求められる学力の把握**に努めること。

全国学力・学習状況調査は、学習指導要領の趣旨を踏まえたものであることから、調査問題を通して**今を生きる子どもたちにどのような学力が求められているか**ということについて、**学校全体での把握**に努めること。

(2) 学力調査の内容や結果を参考に、**普段の授業の指導改善**に努めること。

調査問題や調査結果の分析を通して、**普段の授業が単に知識や技能の伝達だけに留まらず、子どもたちの実生活の様々な場面に活用できる力を育み、子どもの学習意欲につながるような場となるように、全ての教科等において改善**に努めること。

## 4 先生方をお願いしたいこと

～できなかったことを、できるようにするために～

(3)学力調査においては、**子どもが力を十分に発揮し、子どもの正確な学力が測れるように指導を徹底すること。**

- 事前に子どもや保護者に調査の趣旨を説明し、**真剣に取り組むよう指導すること。**
- 学力調査において、子どもが力を十分に発揮できるよう、教員は**子どもの調査への取組状況の把握**に努めること。

「全国学力・学習状況調査 調査マニュアル」には

□児童(生徒)が 解答(回答)欄の場所を間違えずに記入しているかを確認し、適宜、指示してください。

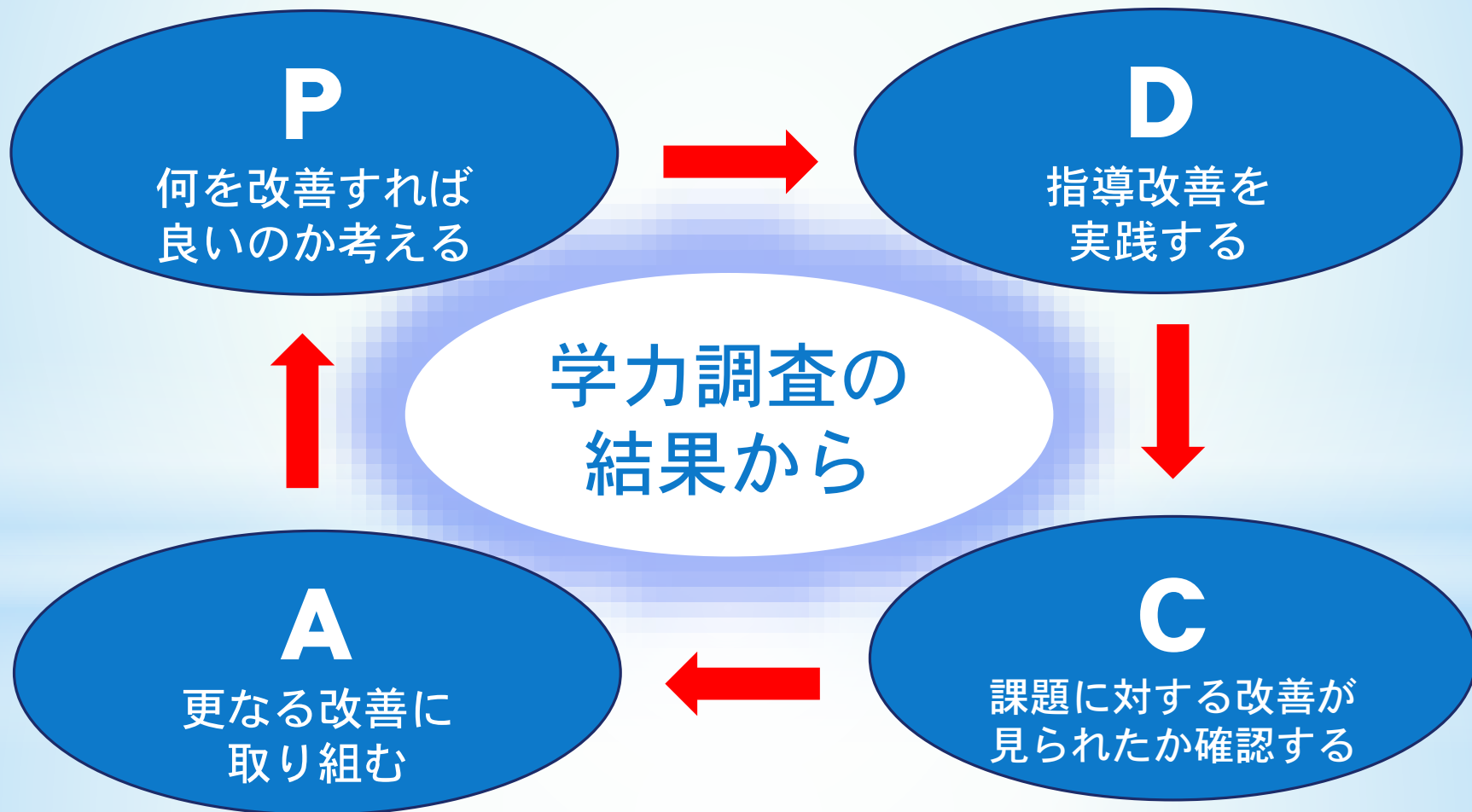
□解答を諦めているような児童(生徒)には、できるところから解答を試みるよう、適宜、指導してください。

★児童(生徒)質問紙の調査中に、児童(生徒)から質問があった場合は、適宜、説明してください。  
と明記されています。

- 実生活では答えを導き出せる子どもであっても、テストという形で問われると、何を問われているのか理解できない子どもも存在するのでは。**教育課程に位置付けて、普段の授業の中で、関連する調査問題を使って考えさせたり、普段から実生活と結びつけた考え方ができるような授業改善を図ったりすることが求められる。**

#### 4 先生方にお願いしたいこと

～できなかったことを、できるようにするために～

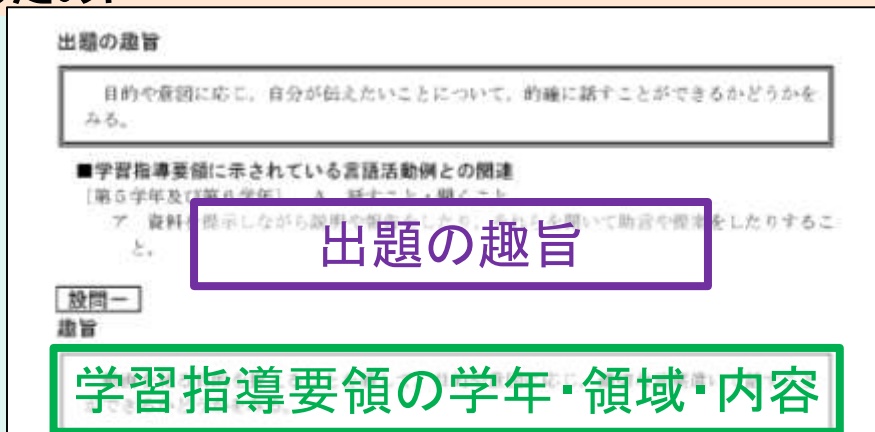


子どもの「できなかったことをできるようにする」ために、  
学力調査の結果を生かしたPDCAサイクルの確立を図る。



## 4 先生方をお願いしたいこと

～できなかったことを、できるようにするために～



学習指導要領における領域・内容  
5学年及び第6学年) A 話すこと・聞くこと  
イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。

解答型と反応率

番号	解答型	反応率 (%)	正答
1	1 と解答しているもの	4.0	
2	2 と解答しているもの	8.9	
3	3 と解答しているもの	77.3	◎
4	4 と解答しているもの	9.6	
5	上記以外の解答	0.1	
0	無解答	8.5	

結果と課題  
正答率は77.3%である。  
解答類型4の反応率は9.6%である。これは、【グループの話し合いの様子】の中にある、田さんの「全体的に早口になっているように思うので、そこを直したいな」という発言に目できていない。また、この中には、上野さんの「表情がとても明るくて」という発言と択肢4の「姿勢や表情に気をつけて話していた」とを結び付けて捉えた児童もいたと考えられる。

**報告書**や**授業アイデア例**を活用し、**指導改善**のヒントに！

「報告書」は、<http://www.nier.go.jp/17chousakekkahoukoku/index.html>

「授業アイデア例」は、<http://www.nier.go.jp/jugyourei/index.htm> からダウンロードできます。